

製品名: IL-32 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12552**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	IL32
別名	IL32; NK4; TAIF; Interleukin-32; IL-32; Natural killer cells protein 4; Tumor necrosis factor alpha-inducing factor
遺伝子 ID	9235.0
SwissProt ID	P24001
免疫原	抗血清はヒト IL-32 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 177-226

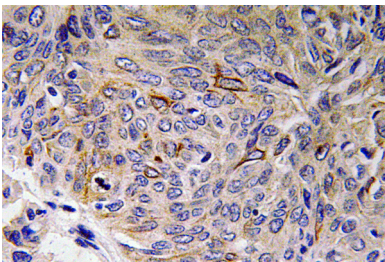
背景

この遺伝子はサイトカインファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、チロシン硫酸化部位、3つの潜在的 N-ミ

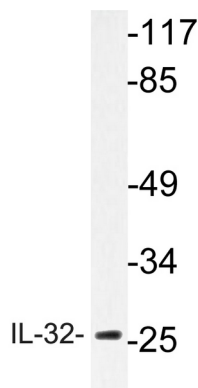
リストール化部位、複数の推定リン酸化部位、および RGD 細胞接着配列を含みます。このタンパク質の発現は、マイトジェンによる T 細胞の活性化、または IL-2 による NK 細胞の活性化後に増加します。このタンパク質は、マクロファージ細胞からの TNF α の産生を誘導します。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが特徴付けられています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、注意: ここに示す配列は、Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとして考慮する必要があります。、機能: 自然免疫および獲得免疫応答において役割を果たす可能性のあるサイトカイン。TNFA/TNF- α や IL-8 など、様々なサイトカインを誘導します。NF- κ B および p38 MAPK といった典型的なサイトカインシグナル経路を活性化する。、誘導: マイトジェンによる T 細胞の活性化、または IL-2 による NK 細胞の活性化後に発現が増加する。、組織特異性: リンパ球に選択的に発現する。免疫細胞では非免疫細胞よりも発現が顕著である。、

研究分野

画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における IL-32 抗体の免疫組織化学分析。



IL-32 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



IL-32 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析